

会員増強・拡大月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

福田 忠博

(大阪中之島RC)



今年度の期首の世界のロータリー会員数が、初めて120万人を割り込んだので、今年度は特に会員増強に尽力する旨の要請がR Iからありました。

一方、第2660地区の今年度の会員拡大増強セミナー(昨年度6月開催)では、セミナーに先がけて、各クラブに対してアンケートを行い、セミナーでそのアンケートを基にバズセッションを行い、その結論としては、クラブの充実、活性化が会員増強・退会防止につながるということでしたので、これを受けて、今年度はクラブの充実、活性化に努めながら、増強と退会防止に尽力したからでしょうか。地区の28クラブが会員増強・拡大賞を、1クラブが会員増強推進計画について、R I会長から表彰を受けました。

そこで、6月14日の次年度のための会員拡大・増強セミナーにおいては、地区を代表して4つのクラブに協力を頂き、どのようにクラブの充実を計り、どのように会員増強と退会防止に取

り組んでいるかについて、パネルディスカッションを行い、コーディネーターを中心にパネラーに意見を求めました。

協力していただいた4クラブの特徴は、

- (1) 会員増強で著しい実績のあるクラブ
- (2) 会員数が比較的多いにもかかわらず、退会者のないクラブ
- (3) R Iの要請する若い人を中心として、会費の下げを断行して、従来のロータリーの常識と異なる活動を行うために、新しく創立されたクラブ
- (4) クラブの合併を実行し、クラブの活性化を計ったクラブ

そこでの結論は、会員増強、退会防止策は過去から多くの提案が出尽くしており、要は、クラブでの増強計画を忠実に実行することであるとの結論に達しました。